

# 青嶺

## Seirei

文責 田中泰司

伊万里市立青嶺中学校

### 祝！卒業

未来へと飛べ！三年生！

いよいよ明日、卒業式を迎え三年生はこの学び舎を巣立っていきます。

今朝は戦いを終え清々しい笑顔で登校してきました。答え合わせをしなが

ら一喜一憂、明日の準備でバタバタ、忙しく動き回りつつも、残された時間を満喫しようと、明るい雰囲気は漂っていました。

自分で選んだそれぞれの場所で、新しい人生が待っています。式辞でメッセージを伝えますが、一足先に通信で。

その背中の翼に精一杯風を受けて、未来へと高く、大きく飛べ！

### 「忘れえぬことば」

大学受験が終わり入部した陸上部は部員が少なく、夜の学生もいたのでなかなか全員そろって練習できませんでした。

また受験でなまった体はなかなか調子が上がらず、相次いでケガに見舞われました。同級生は次々と辞め、辛い時期もありましたが、やはり陸上は好きだったので、手を抜かず練習に励みました。

四年生が卒業する時、当時のキャプテンから「お前がいたから俺たちは安心して卒業できる」と声をかけてもらいました。思いもよらない言葉で、非常に驚き、そして嬉しさがこみ上げて泣きました。人から頑張りが認められる、頼りにされるとはこんなにも嬉しいことなのだ、はじめてその時知りました。

頑張っていたのは自分自身のためです。それでもそれを見ていて認めてくれる人がいるのです。二年後にキャプテンを任せられたとき、部員の頑張りを見よう、言葉で伝えよう、と決意を新たにしました。今は兵庫県警で働いている先輩に心から感謝を伝えたいです。

### 赤い月の思い出

晴れた夜の満月の明るさはすごいですね。文字まで読めるほどです。色は薄い黄色？白に近いでしょうか？

そんな輝く月も、上った直後、地平線に近い場所では、赤く輝いています。大気がレンズになり太陽が夕日では赤くなるのと同じです。血の色のように、Blood Moonとも言われます。

先日、帰宅中にそんな赤い月を見て、思い出したことがあります。オーストラリアの真夏の砂漠で、仲間のバイクのエンジンが故障し、大きな町で修理しなければならなくなりました。ユララキャンプ場から最も近い町、アリスプリングスまでは約470km

あり、伊万里市から兵庫県付近までと同じです。どうにかして運んで、修理できなければその人の旅は終わってしまいます。でもその手段がないのです。

世話になった人が落ち込む姿は見えて辛く、私は自分のバイクとその人のバイクを登山用のザイルで結び、470kmを牽引していくことを申し出ました。

理由はお世話になったからというのがありますが、当時キャンプ場に集まっていた中では、私のバイクの排気量が一番大きかったからです。おそらくその役目は自分しかできないと思います。バイクでバイクを引っ張ると

不安定さ、さらに600ccオフロードバイクフル装備+運転者で総重量400kgを引くことによるエンジンへの負担…

不安でいっぱいでしたが、午後3時位に出発し、休憩をはさみつつ、ロードトレインに抜かれつつ、夜の10時過ぎにアリスプリングスに何とか到着しました。

夜のスチュアートハイウェイをバイクでバイクを引っ張りながら、見えたのが、地平線から登ってくる大きな真つ赤なBlood Moonでした。ほどなくして遠くにアリスプリングスの街の灯りが見えてきて、リンドバーグの気持ちがいっしょに分かりました。

宿泊場所に無事に到着した時二人で固く握手をしました。負担をかけすぎて私のバイクのエンジンはダメージを受け、その後、パースで修理しなければなりませんでしたが、後悔はありませんでした。申し出をせず旅を続けていたら、心の中にずっと引っ掛かりが残ったでしょう。バイクの旅そのものが思い出したくない出来事になってしまったかもしれせん。

世話になった恩を返す、マイルトを走破し旅を終えたさうです。四年前に再会し、懐かしい話に花が咲きました。

何事も自分の心と相談し、価値がある方を自分の責任で選ぶ。そうすればきっと後悔の少ない人生を歩けると私は思っています。

### ゲストハウスで考えた

いつかの通信でも書きました。が、ゲストハウスに宿泊するのはお金の節約もありますが、そこでの出会いがあるからです。

ふらっと出かけた石垣島では天候が悪く、観光日和ではありませんでした。ですが宿泊したゲストハウスではたくさんの人との出会いがあり、年齢・性別・国籍の違いは関係なく、交流を深め楽しい滞在になりました。その中で考えたことは、自然体でいることの大切さです。素直でいることと言い換えてもいいかもしれません。

生きていると職業や学歴、出身地など様々なことに縛られ囚われてしまいがちになりますが、他者と関係を築く時には何よりも自分が問われますし、心の持ち方が大事だと思います。

チャンスがあっても交流の輪の中に入ろうとしなかったり、人の話にマウントを取ろうとしたりするのはもったいないと思います。これからの「対話」について一緒に学び、その目的を共有しましょう。きっと自分を助けるスキルになります！

### 校長室より

一日一日を大切に、感謝を忘れずじつくりと味わいたいですね！自分に言い聞かせています。